

# 改憲・戦争絶対反対!

## 鈴木たつお弁護士を 全学連は推します!!

大学は常に、「真理の探究」を建前にします。学問は時の権力、支配勢力と緊張関係にあるわけです。…ところが、20世紀に入る頃から、進歩は反動へ逆転しました。自由競争から独占が生まれることによって、自由な研究も抑圧されてゆく…今、大学の自治を考えていく時、大切なのは、あらためて「大学の主人公は誰か。また誰に支えられているのか。学問・研究というのは何のためにあるのか」という原点を問い直すことだと考えます。金もうけの大学、一握りの資本家から大学を奪い返す。その闘いの勝利のために労働者人民が学生の闘いを支える。その攻防が始まっていると思います。したがって、大学および大学自治の今日的な意味とは、「大学を戦争反対のとりでに。そのための自治を復権しよう」ということだと思っています。(2014年京大での鈴木たつお弁護士講演)



一昨年、公安警察を摘発・追放した京大で講演する鈴木たつお弁護士

### 「緊急事態条項」で改憲狙う安倍倒そう!

7月参院選を前に、朝鮮侵略戦争が急切迫っています。

安倍政権は4月1日に「憲法第9条は、一切の核兵器の保有及び使用をおよそ禁止しているわけではない」という答弁書を閣議決定。そして熊本大地震をも引き合いに「今回のような緊急時に国家・そして国民自らがどんな役割を果たすかを憲法に位置づけることは、極めて重く大切な課題」(4/15菅官房長官)、「安倍政権が改憲に前向きな今こそ、心を合わせて改憲を進めよう」(4/26 桜井よしこ)の発言に示されているとおり、改憲へ突き進んでいます。

一方で共産党や民進党などは「反安倍」「野党連合」を掲げながら、実際には安倍の改憲・戦争の先兵となっています。共産党は安保関連法が強行採決された昨年9月19日、安保も自衛隊も容認する決議をあげました。そして今年4月19日、共産党系である東京学芸大学学生自治会は法政大学文化連盟委員長・武田雄飛丸君が戦争反対のビラまきを行っていたことに対し、当局と一緒に警察に通報して、逮捕させました(武田君は4月28日に不起訴釈放!)

また、共産党京都府委員長は昨年の京大反戦バリケードストライキを「犯罪行為だ」とツイッター上で言っています。



法大「暴処法」弾圧無罪祝勝会で発言する鈴木たつお弁護士

民進党はそもそも改憲勢力です。もはや既成の「野党」に戦争を止める力も社会を変える力もありません。7月参院選は「改憲・戦争を許すのか否か」の大決戦です。

私たちは今こそ戦争絶対を貫く「労働者の新しい政党」が必要だと考えます。

闘う弁護士・鈴木たつおさんとともに7月参院選で戦争絶対反対の意思をたたきつけよう!

# 全学連

## 全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

【メール】mail\_cn001@zengakuren.jp 【HP】http://www.zengakuren.jp/



# 貧困・戦争に大学から怒りの声を!

## 沖縄大学学生自治会・赤嶺知晃委員長の訴え

# 5.15沖縄闘争に結集しよう!

今年の沖縄闘争は、沖縄から革命をたぐりよせる闘いです。ついに今年韓国・民主労総(80万人を有する労働組合のナショナルセンター)が沖縄に来ます! 労働者の国際連帯こそが基地をなくし、戦争をとめる道です。

3月29日に戦争法が施行され、過去最大の米韓合同軍事演習では沖縄が出撃拠点となる中で、沖縄の怒りが爆発しています。その中で沖縄大学=仲地学長体制がやっていることは反動的で、今年度から学則が改悪されました。「学生だけの集会を禁止する」というものです。さらに、「学則に反した」のみならず、「教職員の指示を無視した学生を処分する」という規定もつくられました。教職員に従わなければ処分する。沖大生に「奴隷になれ」という攻撃です。仲地学長をはじめ、沖縄大学の教授連中は新聞などで「戦争反対」を唱えています、実際にキャンパスでは学生を弾圧しています。「戦争反対」を食物にして安倍の戦争政治=大学の戦争動員に屈服しています。

大学を変え、戦争をとめるために僕は2年前に学生自治会を再建し、昨年5月には学内で反戦集会とデモをやりぬきました。沖縄大学は沖大生の怒りを叩き潰すために必死になっています。大学が入学式で配ったパンフレットには、「大学生活を楽しむ4つの方法」に「学内で反戦署名をするな」と書いてあります。

「『署名をするな』と命令する大学が許せない」「学生は自ら考え行動していく存在だ」と沖大生が立ち上がり始めています。週6でバイトをして、授業にまともに出られない学生。4人に1人の沖大生は大学をやめていく。この現実に対し、「勉強をする時間が減るからバイトをするな」「沖大生の6割は非正規になるからもっと競争しろ」と授業で叫ぶ教授。大学に行けば行

【写真】左上=辺野古現地集会に参加する沖大・赤嶺委員長。右上=昨年5月18日の沖大反戦デモ。

くほど貧しく惨めになって生きる展望を失っていく。人間が発展し豊かになるためにはあるはずの学問が、人間に敵対して未来を奪っている。この現実をぶち破り、大学で反戦ストライキをやって全島ゼネストを切り開く拠点になる。これが大学のあるべき姿だと僕は思います。京大生のようにバリケードをつくって今の沖大の現実を全部破壊して、戦争反対の拠点にしよう!

5月16日、沖大当局は沖大自治会の呼びかける反戦集会に敵対して全学休講にしてスポーツ大会を入れてきましたが、沖大生と全国学生の団結で集会とデモを大爆発させましょう!

## 沖縄闘争に韓国・民主労総が参加!



▼写真=2万人が結集した民衆総決起集会(2月27日、ソウル)

## 5.15沖縄現地闘争

【「5.15」とは?】1972年5月15日、沖縄のペテン的「返還」が強行された日です。以来、「5.15」はオキナワの怒りの原点です。

5月14日(土)~16日(月) ※ツアー参加希望の方はtanaka-tigau@docomo.ne.jp(斎藤)にご連絡を!  
ひめゆり資料館見学、国際通りデモ、県民大会参加、沖縄大学で反戦集会など(予定)